



# 翠したたる 大津山



学校だよりのタイトルは、学校の宝物である校歌からの抜粋で「翠したたる大津山」とさせていただきます。

文責 前田 洋志

## 門松づくり

12月19日(日)午前6時45分

分のまだ夜明け前、PTA会長さんや親父の会会長さんを先頭に有志の方々が集合し、竹の切り出しから始まりまし

ました。  
門松には、まっすくな竹が3本ずつ計6本立てられます。土台に竹を立てて、砂を入れ、かざりをつけてできあがりです。6年生が作業を手伝ってくれました。午前10時ごろには完成しました。  
令和4年が皆様にとっていい年であることを願います。



## 冬休み前集会

12月24日(金)冬休みの前

前に、各学年の代表が後期前半を振り返って発表しました。できるようになったこと、頑張ったことを紹介してくれました。たくさんあってよかったです。

私も、「みなさんのいい姿がたくさん見ることができてよかったです。」と話しました。具体的な姿として、5分間走で一人一人が黙々と取り組めたことや持久走大会、落ち葉集め隊、掃除に取り組む姿等を紹介しました。一小は、労をいとわずに取り組める子が多いと感じます。



## 冬休み明け集会

12月26日(日)午前6時45分



自分以外の人のために、頑張れることの素晴らしさを感じた後期前半でした。このような姿がたくさん見られるようになると、さらに毎日が気持ちよく楽しく過ごせるようになります。その点からも素晴らしい姿だと思えます。

休みを終え、1月11日(火)に冬休み明けの集会を密にならないよう距離をとって短時間で開きました。子どもたちの元気な顔がそろう、直接見ることができ、うれしく思いました。

集会では、「生長」と「成長」はどう違うのかを問いかけてました。校長室にある日めくりカレンダーには、「何もなくても大きくなり



ます(生長)。努力して心を大きく育てよう(成長)。」と記してあります。子どもたちには、心も体も大きく「成長」してほしいとねがっています。成長するためには、めあてをもって取り組むことが大切です。年の初めは、リセットできて、めあてを決めるのによい機会です。自分にとって苦手なこと、面倒なことをめあてにすると成長のチャンスですね。

## 学校情報化「優良校」認定

1月11日(火)日本教育工学会から本校を学校情報化優良校に認定しますという内示がありました。これは、情報化の推進体制を整え、教科指導におけるICT活用、情報教育、校務の情報化に取り組んでいる学校が認定されます。

南関町は、先進地域としての認定を目指しており、他の学校も取り組んでいます。本校では、活用の促進をねらって、タブレット持ち帰りの際「算数チャレンジ」として、頭のトレーニング的な問題を出題しています。難問にも粘り強く取り組んでいる子がいて、ビックリするとともに頼もしく感じています。

## 感染急拡大にご注意下さい。

冬休み明けから感染者数が急増し、せっかくPTA役員の皆様が諸準備をされていた「どんどこ」まで中止せざるを得ない状況になりました。

玉名市や山鹿市でも学級閉鎖や臨時休校の措置をとった学校があるようです。県内全小中学校で、県が発表するリスクレベルに応じて対応しています。現在のはリスクレベル2です。今後の行事等が変更になる場合が生じると思われませんが、文書や安心安全メール等でお知らせしていきます。各家庭が感染に巻き込まれず、日常を続けることができるよう願っています。